

Part. 1 だれに「ありがとう」を伝えたいか 決めてから進めましょう

所要時間
20分

目的

手紙に親しむ第一歩として、こどもに「手紙のよさ」を知ってもらいます。

そのうえで、「ありがとうを伝える手紙」を書くために、こどもがだれに「ありがとう」を伝えたいかを思い描けるよう指導します。

指導の流れとポイント

1 「これまで手紙を書いた経験があるか」をこどもに聞き、「ある」と答えたら、「だれに宛てたか」「どんな内容の手紙を書いたか」を聞きます。

2 今度は「これまで手紙をもらった経験があるか」をこどもに聞き、「ある」と答えたら、「だれからもらったか」「どんな内容の手紙だったか」「手紙をもらったときはどんな気持ちだったか」などを聞きます。

3 こどもの答をふまえ、以下のような「手紙を書くこと、もらうことの楽しさ」について話し、手紙を書くことへの意欲を高めていきます。

【手紙を書く楽しさ】

- ・手紙を書くことで、相手を想うことができる
- ・ふだん恥ずかしくて言えないことや言いそびれたことを相手に伝えることができる

【手紙をもらう楽しさ】

- ・一文字ずつ綴ってくれた嬉しさを感じることができる
- ・もらった手紙はなによりの思い出の品になる

4 いつも接している家族や友達には、身近すぎて本当の気持ちを言うのが照れくさいもの。そんな家族や友達にふだん言えない「ありがとう」を手紙で伝えてみよう、というかたちで、「ありがとうを伝える手紙」を書く気持ちを高めていきます。

5 こどもに教材を渡し、「だれ」に「なに」を「ありがとう」と伝えたいか書いてもらいます。

6 こどもが書き終わったら、「決めた相手に『ありがとうを伝える手紙』を書いてみようね」と話し、こどもが今後、自発的に手紙を書くよう促します。

Point

各項目を板書、または紙に書いて、こどもが「手紙を書くこと、もらうことの楽しさ」をしっかり覚えられるようにしましょう。

